

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 5-2-5	事務事業名 手技治療割引券支給事業	所管部課 健康福祉部 高齢者支援課
----------------	----------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	はり・きゅう・あん摩マッサージ等の施術費の一部を市が助成し、施術を受ける方の負担を軽減し、高齢者の機能促進と健康の増進を図る。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 【対象者】 65歳以上の市民の方 【助成内容】 はり・きゅう・あん摩マッサージの1回の治療につき、1,000円の割引をする「高齢者福祉手技治療利用者証(はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧割引券)」を最大年間12枚(月1枚支給のため、申請月が遅くなると支給枚数は減少する)をまとめて支給する。 【施術可能箇所】 平成27年度末現在で、手技治療券の利用について提携している治療院は62か所ある。 【申請窓口】 田無・保谷両庁舎の高齢者支援課及び出張所 (予算事業名:03.01.03.07 高齢者福祉手技治療割引券支給事業費)	
事業開始時期	合併前	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
事業費(A)		22,002	12,585	12,549	14,117
財源内訳	国庫支出金・都支出金				
	地方債	千円			
	その他 ( )				
	一般財源		22,002	12,585	12,549
所要人員(B)	人	0.25	0.25	0.25	0.25
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,984	2,053	1,984	2,075
臨時職員賃金等(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	23,986	14,638	14,533	16,192
単位当たりコスト					
(E)=(D)/ ( 交付者数 )	千円	11	7	7	

活動等指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
① 交付者数	実績値 人	2,133	1,966	1,938	
② 交付枚数	実績値 枚	42,751	20,015	19,987	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 高齢化率が伸びている中、交付者数は漸減傾向にある。 平成25年10月分から月2枚の支給枚数を月1枚の支給としたため、平成26年度以降の交付枚数は減少している。					
成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
一次 使用枚数	目標値				
	実績値 件	21,645	12,219	12,196	
二次 使用率	目標値				
	実績値 %	50.6	61.0	61.0	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 平成25年10月分から月2枚の支給枚数を月1枚の支給としたため、平成26年度以降の使用枚数は減少(平成26年度実績は対前年度比△43.5%)し、使用率(使用枚数÷交付枚数)は逆に上昇している。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	手技治療券の申請時に、毎年支給を受けている方々からの「1,000円の割引でも助かっている」との声が多い、また同時に「2枚から1枚に減って残念」という意見が今でもある。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	26市中、同様のサービスを実施しているのは9市である。対象者要件を比較すると年齢以外に障害者手帳を持っているなどの要件が加わる市が多くあり、広く市民にサービスを提供するという点から判断すると本市のサービスは水準が高いと思われる。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	代替・類似サービスはない。

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<p>平成25年10月からの見直しにより、支給枚数が24枚から12枚に減ったものの、実際の使用枚数は半減していない。利用者からは枚数が減ったことによる意見が今でもあるが、割引券を全て使う人とほとんど使わない人がおり、平均値をとれば、月1枚の支給枚数は適正であると考えられる。</p> <p>本事業は、保険診療外である手技治療の自己負担額から、割引券により1,000円を差し引いた額を支払う仕組みであるため、利用者は相当の自己負担を払った上で、健康のために手技治療を受けている。前回評価で所得制限についての指摘があるが、本事業は健康な市民生活の水準維持に寄与していると考えられ、多くの高齢者を対象とした健康増進事業としての役割を担う事業であることから、所得制限等を設けることは事業の性質上なじまず、継続実施が妥当と考える。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	1	
	事業内容等の適切さ	3	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<p>本事業は、利用者数の推移を見ても利用者が特定されている可能性が高く、治療による症状の改善等についてもその効果について把握が難しい事業といえる。</p> <p>利用できる施術所等を増やすとともに、サービス利用についての周知を行い、利用者の拡大を図る必要がある。</p> <p>また、広域的なサービス連携についても併せて調査・研究されたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	1	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	(対象外)

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、高齢者の健康増進や身体機能の安定化を進める上で、一定の効果があると考えられる。</p> <p>また、平成23年度の行政評価における指摘を踏まえ、支給枚数の見直しを行った点は評価できる。</p> <p>今後については、事業効果の検証を行うとともに、制度の周知に努められたい。</p>

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	<p>◇平成29年度 効果検証とともに事業周知を図る。</p> <p>◇平成30年度 検証結果を踏まえた対応を行う。</p>
---------------	--